

令和元年度 第1回学校評議員会 会議録

1 会議の名称

令和元年度岩手県立住田高等学校第1回学校評議員会

2 会議の構成

(1) 学校評議員

菊池 和子 氏	住田町社会福祉協議会
佐藤 清司 氏	会社員
三浦 政勝 氏	住田町立有住中学校長
佐々木 純 氏	東海精密工業岩手事業所管理部部長代行
山内 米子 氏	主婦

(2) 学校職員

菅野 誠二	校長
菅野 幸貴	副校長
利府 崇	教務主任
三浦 天豪	総務主任
高橋 義柄	生徒指導主事
板澤 毅尚	進路指導課
大澤ゆかり	総務課

3 会議の開催

令和元年5月17日（金）14：30～15：30 【住田高等学校会議室】評議員4人、学校職員7人

4 会議の次第

新評議員辞令交付

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 令和元年度学校経営計画について
- (4) 学校概況報告について
- (5) 意見交換
- (6) その他
- (7) 閉会

5 会議の概要

(1) 校長挨拶

今年度は新入生36名、全校生徒90名でスタートした。各学年を2クラスの少人数学級とし、きめ細かい指導を行っている。部活動では野球部に新入生4名が入部し9名となり、春季大会で初勝利を得た。本校は小中高連携で地域創造学を実施している。今年度は毎週水曜日7校時に授業を行っている。皆さんの忌憚なきご意見を頂戴したい。

- (2) 令和元年度学校経営計画について
- (3) 学校概況について

質問

- ア 評議員 生徒数は1年生が36名で昨年より3名増。卒業生が32名ということは1名辞めたのか。
学校側 在籍変更がある。
- イ 評議員 携帯の指導について、トラブルはあるのか。
学校側 トラブルはある。例年今の時期に新入生への指導をしている。携帯の所持、SNSの利用は悪くない。自分の感情や個人情報をUPしない、直接会話することなどを指導した。
- ウ 評議員 整容指導に反省文とあるが何か。
学校側 現在は行われていない。
- エ 評議員 私は地域福祉を担当している。住高生はお助け隊や住高祭見学の補助などに参加している。今年も27名がボランティア希望である。住田町出身者は半分程度なのに、これほど応募があるのは先生方の指導があると思う。今後ともよろしく願いたい。

(4) 意見交換

- ア 評議員 不適切動画が話題になるが、指導をしているのか。
学校側 日常での指導をしている。加えて来月、サイバーセキュリティについての講話を計画している。時期的には少し遅いので、昨日の講話でも話してもらって良かった。
- 校長 SNSを一日どのくらい使っているかという調査では、高校生の平均は3~4時間。いろいろなトラブルがあるが、後でどうなるか想像が及ばないようだ。ゲームの依存症で学校に来られなくなることも問題視されている。誹謗中傷もある。情報メディア教育をする必要がある。
- イ 評議員 昨年から放課後の居場所ができた。生徒の勉強時間が増えたりしたか。
学校側 増加傾向にあるが、経過を見ている。
副校長 研修会館で勉強している生徒もいる。
評議員 学校公開のときに生徒に聞いたところ、喜んでた。
校長 町教委のコーディネータが工夫してくれている。月に1回社会人講話がある。
- ウ 評議員 お助け隊などの活動が東海新報に掲載される。高校再編を考えるとときに地域密着は良い点になるのではないか。
校長 学校として地域に何ができるか考えている。
- エ 評議員 授業参観では落ち着いて授業を受けていて、良い学校だという印象を得た。振興会事業の芸術鑑賞や地域文化選択講座は中学生も楽しみにしている。
- オ 評議員 福祉活動を頑張っている。役場、社協の企画にも参加してくれる。今後は生徒から企画や希望があると良い。そういう生徒を育てて欲しい。
校長 主体的な生徒を育てることを大事にしたい。

(5) その他

次回の開催日程は、令和2年2月18日（火）午後の予定であることを確認した。